

無断外出とその後

ショートステイ・ゆきよし とやの

副所長 嶋津 歩

平成26年から平成28年までの無断外出

- ▶ 平成27年 2月19日 7:20 Y・T様
- ▶ 平成27年 6月19日 20:30 H・M様
- ▶ 平成28年 3月12日 9:52 E・R様



1. Y・T様概要

- ▶ 経過 平成27年 2月19日 7:20
 - ▶ 他御利用者の起床介助中、一時的にホールへ戻った際、ご本人様の姿見当たらず。ご本人様居室訪室すると窓が半分開いており、かぶっていた帽子と握っていた紐が床へ落ちている。施設内のどこにもおらず、直ちに施設長・介護係長・相談員へ報告する。早番職員が市民病院付近にてご本人様を発見したと報告あり。発見した際、興奮状態にて杖を振り回しているとの事で直ぐに施設へお連れすることは困難。現場に到着した介護係長と共にご本人様を乗車させる。
-

外出經路





原因と対策

▶ 原因

- ▶ ホールに夜勤職員2名・早番職員1名の全員が不在。無断外出の恐れがあったご利用者様の所在確認を怠ってしまった。
- ▶ ・連日連夜、施設外へ出ようと出口を探されていた。「遺産を取られる」等の妄想もあり、帰宅欲求が強くなっていたと思われる。

▶ 対応策

- ▶ ホームセンターにて防犯ロック錠を購入、全居室へ設置する。
-



対策



2 H・M様概要

- ▶ 平成27年6月19日
 - ▶ 20:30
 - ▶ 他利用者様の物音や、電気の点け・消しで休めない様子あり。また、帰宅の訴えや、「二階の部屋へ連れて行って」等の言動あり、他居室(熱海→佐渡)へ移動し様子観察することとする。
 - ▶ 22:30
 - ▶ 巡回時、浴室前のつい立の一部が開いていることに気が付き、居室を見るとご本人様がおらず、同夜勤者と管理者に報告する。
 - ▶ 洗濯室から外へ出る扉の鍵が開いており、管理者と施設外周を搜索するも発見できず。同時に同夜勤者施設内を巡回するもご本人様発見できず。
 - ▶ (中略)
 - ▶ 23:32
 - ▶ 搜索に出た介護職員が上沼651番地付近で発見、保護したと連絡あり。
-

居室環境外出経路





原因と対策

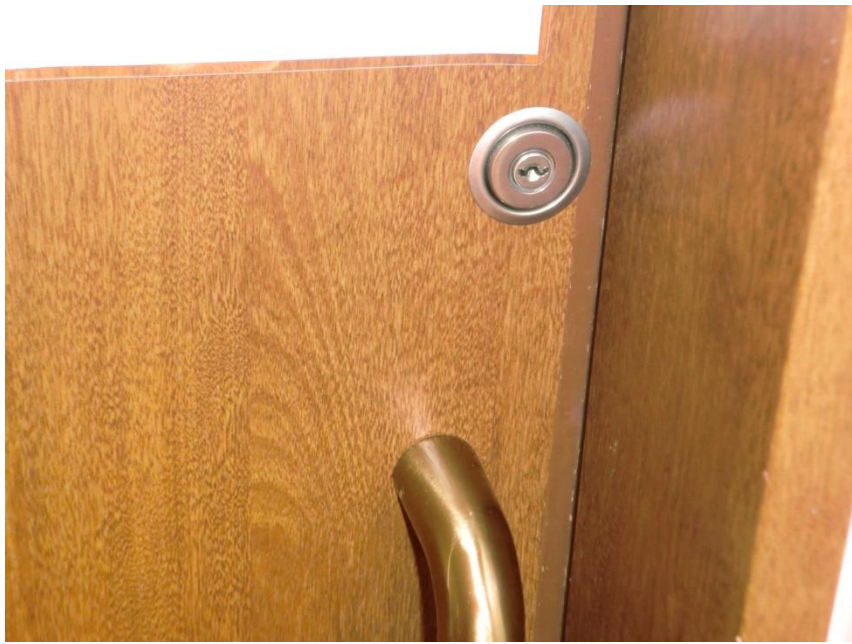
▶ 原因

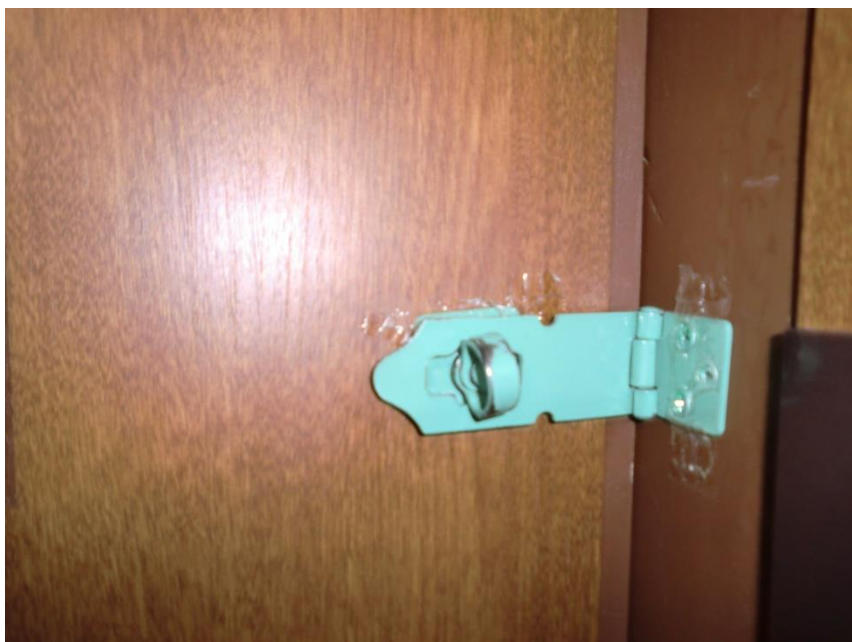
- ▶ 居室変更の際、以前センサーの反対側より降りられたとひやりはっとの報告があったが居室環境表の変更を行っておらずそのままの設定で行ってしまった。
- ▶ 洗濯室から外部へ出る扉は施錠していたが洗濯室から脱衣場間の扉、脱衣場からホール間扉の施錠は行っていなかった。

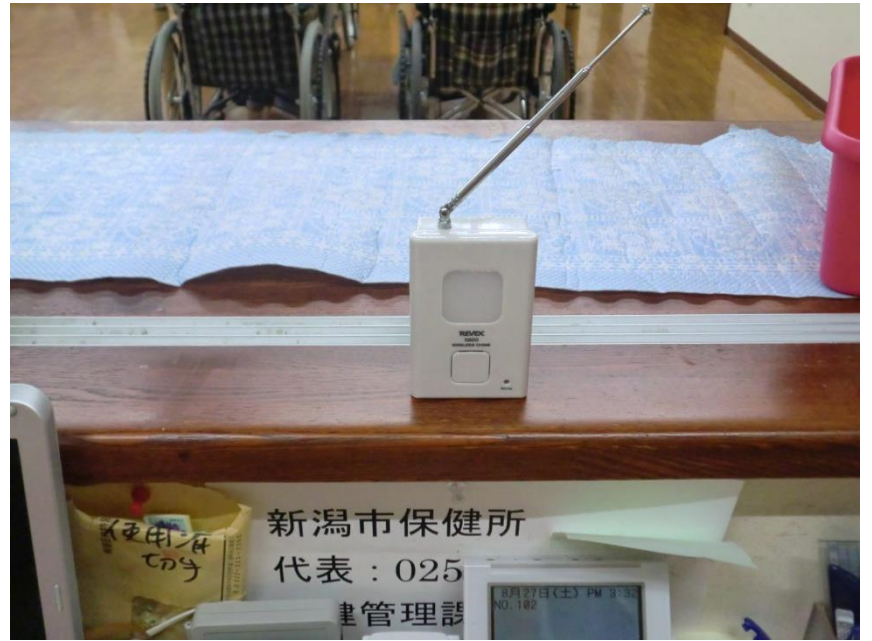
▶ 対応策

- ▶ 洗濯室から浴室間の扉は施錠、浴室からホールへ間の扉へは施錠用に掛け金を取り付ける。扉が開いた際音がなるよう鈴をつける外部へ出る扉はセンサーを取り付ける。
-







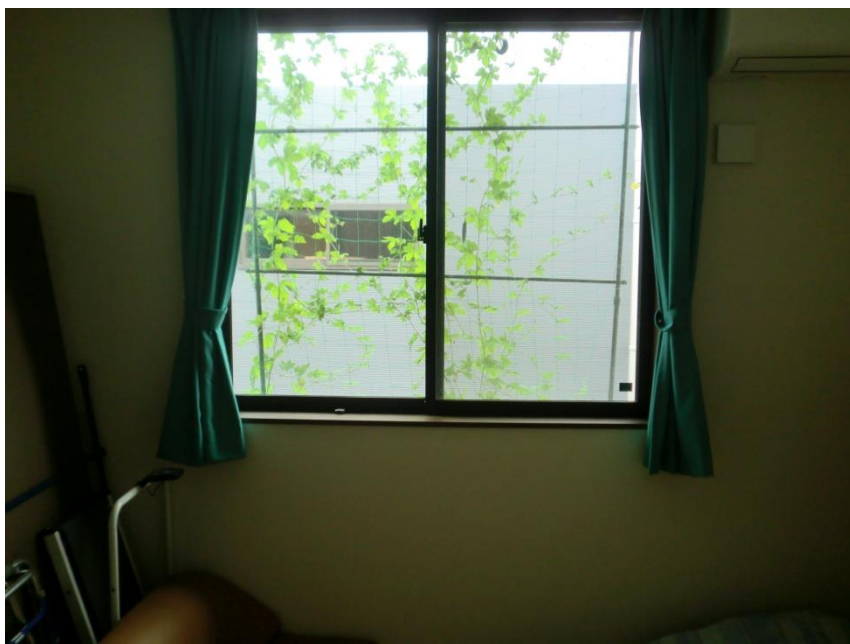


E・R様概要

- ▶ 平成28年 3月12日 9:52
 - ▶ 職員が他の利用者様のお迎えに行き、施設に戻る途中、近隣のレンタルショップ近くの歩道を市民病院の方向に歩いている当該利用者らしき人物を発見。
 - ▶ 施設が近いこともあり、施設に戻り相談員、副所長報告。確認したところご本人様が施設内にいないことがわかる。
 - ▶ 職員が車にて搜索開始
 - ▶ (中略)
 - ▶ 次の方のお迎えの為出発した職員が、施設から数百メートルのところ、近隣の100円均一ショップの裏手、バイパスの側道脇の歩道(トンネル手前)を、上着を着て、ショルダーバッグを担ぎ、当施設の方向に歩く当該利用者を見発見。
 - ▶ 本人確認をし、車乗っていただき、施設へ送る。
-



外出経路





原因と対応策

▶ 原因

- ▶ 前日より外出の希望が強く職員に対しても威圧的な発言聞かれていたが特段居室の変更は行わなかった。
- ▶ 新館開設時、本館と同様に防犯ロック錠を取り付けていたが、その錠を設置すると、窓の開け閉めが全くできなくなり、湿度調整・換気が必要(感染症予防)な時期であったため、「10cm」程度、窓が開けられるようになっていた。
- ▶ 今回の事故は、その「10cm」が勢いをつけられる空間となり、窓の開け閉めを繰り返し、錠が外れたと思われる。

▶ 対策

- ▶ 居室を本館へ変更。
-



図



その後

- ▶ 今回上げた3件以外無断外出は無いが。現在の施設の状況において無断外出の可能性は低くなっていない。
- ▶ 理由として
 - ▶ ①正面玄関の使用状況
 - ▶ ②職員体制
 - ▶ ③施設の防犯管理




①正面玄関の使用状況

- ▶ 現在施設の正面玄関は自動ドアではなく手動式である。
 - ▶ 鍵の開錠はステーション内か扉脇のスイッチで行う。
 - ▶ 施錠は扉を閉めると自動的に施錠されるが完全に扉が閉まらなると施錠されない。ステーション内にあるスイッチに開放中のランプは点くが音は鳴らず気づきにくい。
 - ▶ そのため来所された面会者などがそのまま入られる事もある。
-



②職員体制

- ▶ 現在月御利用総数1000人、1日平均32人以上と御利用される人数が多くなっているが日中ホール対応する職員が少なく、御利用者様とお話をする時間が少ないだけでなく見守りを同時に数人しなければならぬ日もあり、一人一人の状況、所在確認が難しい状態である。
 - ▶ 相談員、看護師、事務員にも協力してもらい、他施設からのヘルプも来ていただいているがそれでも事故報告多く上がりひやりはっとの報告少ない状態である。
-
- 

ある日のホール情報



③施設の防犯管理

- ▶ 先日、障害者施設の防犯管理研修に参加し、施設の防犯についての問題点の気づく。

進入経路の多さ

- ▶ 講師より施設の入り口は1箇所が望ましいと話があった
 - ▶ が施設へ入れる所は職員、正面、給食職員の3ヶ所
 - ▶ のほかに旧職員玄関、洗濯室、非常口（本館、新館）
 - ▶ 新館汚物室、正面玄関向かい中庭への扉と多数ある。
 - ▶ 非常口、新館汚物室、旧職員玄関、洗濯室は常時施錠を行っており問題はないが、日中開放している中庭
 - ▶ 扉等進入、外出危険性高い箇所がある。
-



今後の課題

▶ 無断外出される方は何かしらの理由がある。

▶ **ご自宅へ帰りたい欲求。**

▶ **外へ出たい欲求。**



-
- ▶ それは施設の中においても落ち着かれないということ。
 - ▶ 施設は安心安全に過ごして頂ける雰囲気、環境作りが必要。
-
- ▶

ご清聴ありがとうございました

